

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市青葉体育館・仙台市武道館・仙台市川内庭球場	
2 指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 255,433人(前年度比 114.0%) 令和4年度 224,135人 令和3年度 159,117人	
	《事業》 ・施設の管理運営 ・スポーツ振興にかかるスポーツ教室・イベント等の開催	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 181,242千円 ( 182,190千円) ・ その他市が負担した費用 56,034千円 ( 22,211千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 65,457千円 ( 61,524千円) ・ その他収入 3,013千円 ( 3,109千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・仙台市スポーツ施設利用者アンケートを実施(令和5年10月11日～10月31日)。 ・競技場の一般公開に関するアンケートを実施(令和5年9月1日～10月31日)。 ・スポーツ教室受講者アンケートを実施。	

## 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する各種研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、令和5年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。自主事業の申請をオンラインで受け付ける「受付・決済システム」導入により参加者の手続きが簡便化されており、利用しやすい受付案内の先進的な取り組みを行っている。川内庭球場では、使用可否などのコート状況を、ホームページで確認できるようにしており、利用者の利便性向上に大きく寄与している。	30/28
V 施設固有の基準	事業計画書および協定書の通り、様々なスポーツ教室等の自主事業を実施し、市民のスポーツ振興に寄与している。また、実施の際は感染症予防に配慮しながら行っている。	2/2

### 三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》
<p>仙台市の「施設の設置目的」を踏まえて策定した当事業団の「施設運営の基本方針」に則り、コンプライアンスを遵守し、「社会情勢の変化にも柔軟に対応できる指定管理者」となるべく業務に取り組んでまいりました。また、公的施設として市民の皆様に安全・安心かつ快適に施設を活用していただけるよう、災害時における私たちの役割に対する意識をより高めながら危機管理に努めてまいりました。建物内外および施設周辺地域に目を配り、設備や備品等の日常点検・定期点検をはじめ、外回りの環境整備を適切に行い、機能や美観の維持・延命を図るとともに不具合等は速やかに措置するよう努めました。</p> <p>【青葉体育館・武道館】災害時に第一設置場所となる「青葉区災害ボランティアセンター」の設置運営訓練への参加や、「子ども110番の家」への登録を行うなど、有事の際に地域に貢献できるよう取り組んでまいりました。新たな利用者獲得策としては、競技場の利用種目の拡大（ハンドボール）や一般公開の新規種目の追加（ソフトテニス）を試みました。また、青葉区マイタウンスポーツ協会をはじめ関係団体との連携事業「スポレク祭in青葉」により、区拠点スポーツ施設としての役割を果たしてまいりました。自主事業については、様々なライフスタイルやライフステージに応じた身体活動を行えるよう通年型、定期型、フリー参加型に分類し、幅広く運動の機会を提供してまいりました。</p> <p>【川内庭球場】夏期に猛暑日が多く、熱中症予防等で中止せざるを得ない事業もありましたが、コート内に日除けテントを設置するなど対策を講じて、未就学児からシニアまで幅広い年齢層にテニスプログラムを提供することができました。また、シニアを対象とした「川内シニアカップ」や誰とでも自由にペアが組める「川内カップ」は人気の高い事業として定着し、テニスに親しむきっかけづくり、継続させる取り組みを実施してまいりました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。</p> <p>施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されており、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。</p> <p>施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。</p> <p>サービスの質の向上については、職員に対する接遇研修を通じ、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう努力をしている。また、自主事業参加者用のオンライン受付・決済システム運用やウェブアクセシビリティに配慮した施設Webサイトの運用、デジタルサイネージ設置による情報発信強化など、多様な手法で利用者の利便性向上に努めている。川内庭球場では、使用可否などのコート状況をホームページで確認できるようにしており、利用者の利便性向上に大きく寄与している。</p> <p>自主事業等については、事業計画書および協定書の通り、様々なスポーツ教室等の自主事業を実施し、需要に応じて新規事業にも取り組むなど市民のスポーツ振興に寄与している。また、施設備品の整備を行うなど、提案事項等を着実に実施し、サービス向上に取り組む姿勢は評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課